

経営比較分析表（平成29年度決算）

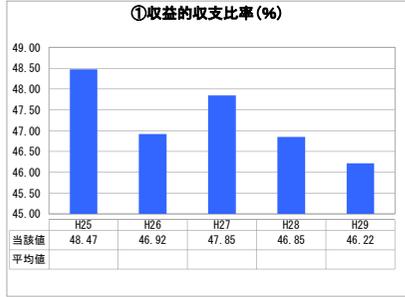
兵庫県 赤穂市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20㎡当たり家賃料金(円)
-	該当数値なし	4.79	87.25	2,408

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
48,440	126.85	381.87
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
2,309	0.76	3,038.16

グラフ凡例	
■	当該団体値（当該値）
—	類似団体平均値（平均値）
【	平成29年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



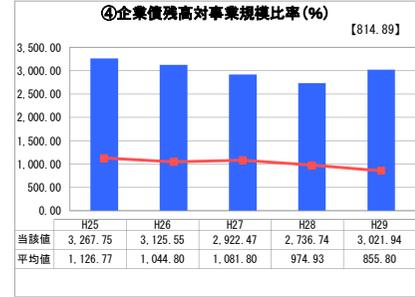
「単年度の収支」



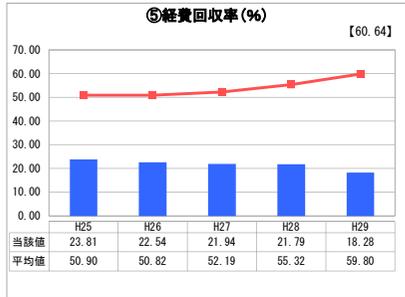
「累積欠損」



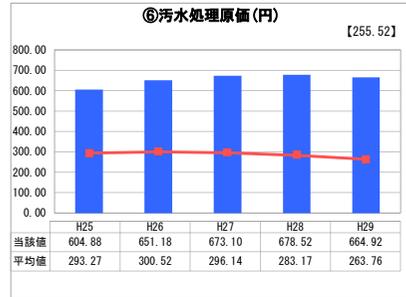
「支払能力」



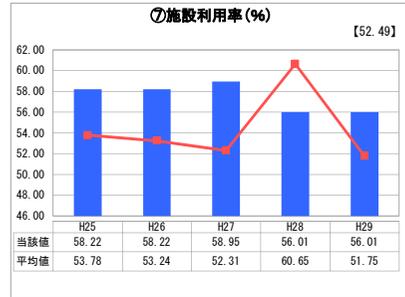
「債務残高」



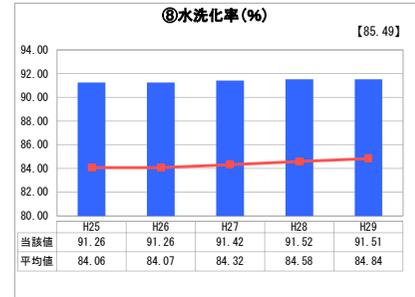
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

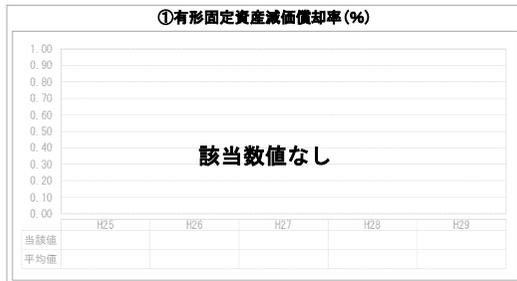


「施設の効率性」

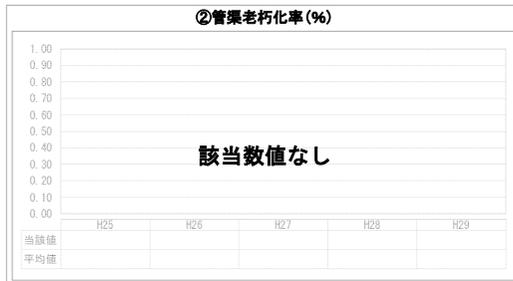


「使用料対象の捕捉」

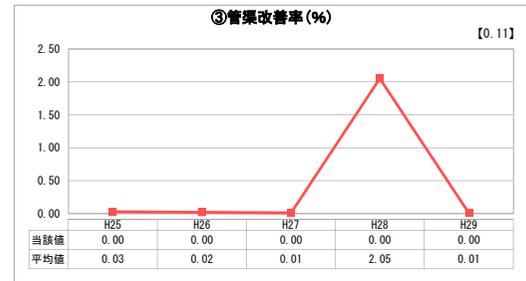
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

施設維持管理に係る汚水処理費を抑制してはいるものの、人口減少や節水等による年間有収水量が減少し続けているため汚水処理原価は高い数値で推移しており、経費回収率も低く、経営の効率性が低下し経営状況は低迷している。収益的収支比率についても経営の合理化を図ってはいるものの、ここ数年は低迷状態である。また、企業債残高も減少はしているものの、使用料収入の減収により企業債残高対事業規模比率も上昇に転じている。人口減少や節水により使用料収入が見込めないことから引き続きコストの合理的縮減に努め、合理化・効率性を図った施設の更新計画を早急に進める必要がある。

2. 老朽化の状況について

農業集落排水施設の改築・更新費や維持管理費を低減することを目的に、農業集落排水区域の一部を公共下水道へ統合するなどして農業集落排水施設の再編を計画している。平成31年度から計画を順次進めている。

全体総括

水洗化率は91%に達しているものの、人口減少や節水により使用料収入が見込めていないことから、収益的収支比率、経費回収率は低迷し、汚水処理原価は全国平均や類似団体と比べてかなり高額である。また、平成12年度に事業が終了し企業債残高はゆるやかに減少してはいるものの、企業債償還金は高額で経営費用を圧迫している状況である。施設運営については、引き続き徹底した合理化・効率性を図り、コスト縮減に努める必要があり、並行して農業集落排水区域の一部を公共下水道へ統合するなどして農業集落排水施設の再編・再建を早期に実施する必要がある。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。